

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878

それが近世になり、民衆の伊勢参宮が盛んになると、神人の性格をなくして商人化した。神事との関係を切った。口入れ神主、全国的に関係を組織化して参宮者の旅を万端輪廻するようになった。  
 扇子はそれであおいで涼風をおこすだけの道具ではなかった。むしろ、当初は礼儀を正す小道具として傍に荷じまうに重要であった。



2016/06/15

「おじぎの不思議を一心にひもとく」  
 おじぎの不思議を一心にひもとく。立礼それは扇子を膝に軽く立て、腰をかかめ、おじぎである。この立礼は伊勢から御師の手代が参宮者を迎えるに御師の館に泊まった客を送つてくる。ちねみは御師は前代におはは神職種(福豆層)



2016/06/15



2016/06/15

もともとは顕著な例は、甲子園球場で高校野球であろう。こうして、武道はもとより外來スポーツをもも神聖化する精神がたしかに私たち日本人に伝わっている。  
 おじぎがすんなりと通じることもあるが、天皇、皇后両陛下が西太平洋のバラスペリリ島を訪問された。戦没者の慰霊のためであったが、慰霊碑に向かう途向かい静かに拝礼された。また、人々に対してほほえみでたたえた会釈もよりなされてきた。バラスペリリ島にもいかに敬意を返している。それに敬意を返す人へは外から身についたおじぎは、むしろ美しい、日本人の敬意の表現であり、その場ではもちろんさわい作法なのである。

スポーツ競技のおじぎは開始時と終了時に顕著である。双方が「礼を以て尊譲がなは意を表すのだ。」礼にはじまり、礼でおわきしほこのことをいう。  
 野球は明治6(1873)年にアメリカから伝えられたスポーツである。  
 学生野球にはじまる。そのとき開始時と終了時にホームベースをばさむの相互礼がなされた。  
 こうしたおじぎは、日本人の精神性を投影しての伝承である。



2016/06/17

日本文化への理解と誇りは現代の私たちにこそ求められることではある。だが、おじぎされどおじぎである。



2016/06/22